



(提供先：茨城県広報広聴課)

## 今月の1枚

# 福岡堰の桜

福岡堰は、小貝川と鬼怒川からの水害被害の軽減と下流地域の水田を潤す水源を確保するために整備されました。前身は、江戸時代末期1625年に、当時の関東郡代であった伊奈忠治氏が建設した山田沼堰です。その後1971年に、河川の水量変化や堰の老朽化等に対応するため、コンクリート造りで現在の姿に再整備されました。

貯水量は275万tを誇り、下流にある岡堰、豊田堰と合わせ「関東三大堰」に数えられます。また2006年には、農林水産省から、日本の農業を支え、次世代に「水・土・里」を伝えるため積極的に維持していく用水として「疏水百選」にも選定されました。

堰に隣接する伊奈神社は、忠治氏をまつる神社として1941年に創建されました。毎年4月18日は、同氏の行った素晴らしい灌漑事業を称えるとともに、水を使用する際の安全と豊作を願う例祭と、その年初めて水田への導水作業が行われます。また2006年には、神社の南側に福岡堰さくら公園が整備され、地域住民の憩いの場となっています。

小貝川と堰の水路の間にある約1.8kmの堤とその周辺には、約600本の桜が植えられ、また遊歩道も整備されています。桜が満開になる時期は、薄いピンク色に染まった“さくらのトンネル”が出現し、来訪者を包み込みます。その景観の美しさに対する評価は高く、「茨城観光100選」や「茨城百景」に選定され、県内でも有数の桜の名所となっています。また、桜の開花に合わせて「福岡堰さくらまつり」が開催されます。まつり期間中は、式典やライブ、農産物販売などが行われ、県内外から多くの花見客が訪れます。

この春、偉人に想いを馳せながら、ご家族・ご友人とご一緒に美しく咲き誇った桜に包まれる福岡堰の遊歩道を散策されてみてはいかがでしょうか。 (筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆所在地：茨城県つくばみらい市北山2633-7他  
アクセス：【車】常磐自動車道 谷田部ICより約20分  
【電車】つくばエクスプレス みどりの駅からバスで約10分、関東鉄道常総線 水海道駅からバスで約10分  
※まつり期間中無料シャトルバス運行 (みらい平駅⇄会場)